

令和4年度「おかやま森づくり県民税」事業実績について

1 おかやま森づくり県民税の趣旨

水源の涵養や県土の保全、地球温暖化の防止など、全ての県民が享受している森林が有する公益的機能の重要性に鑑み、県民の理解と協力の下に、森林の保全に関する施策の一層の推進を図ることとしています。

2 施策の基本方針

- (1) 水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり
- (2) 森林整備を推進するための担い手の確保・育成と木材の利用促進
- (3) 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進

3 事業の成果

- (1) 水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり

(383,589 千円)

ア 健全な人工林の整備 (266,789 千円)

健全で活力ある森林を育成するため、間伐等の実施、間伐材搬出のための森林作業道の整備、少花粉苗木による植替えの促進及びシカ被害対策のための人材育成に向けた講習会の開催等を支援しました。

イ 多様な森づくりと快適な森林環境の創出 (116,800 千円)

松くい虫及びナラ枯れ被害林の再生、被害木伐倒等による駆除、集落周辺などの森林の荒廃状況調査、地域の実情や課題に対応した市町村による森林保全の取組を支援しました。



健全な人工林へ向けての間伐実施



少花粉苗木への植替え (モデル林整備)



伐倒くん蒸によるナラ枯れ被害防除

(2) 森林整備を推進するための担い手の確保・育成と木材の利用促進 (206,194 千円)

ア 力強い担い手の確保・育成 (35,907 千円)

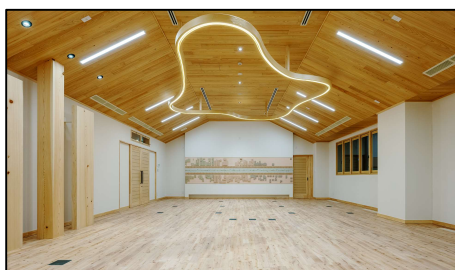
林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材を育成するため、高校生等への林業就業体験支援、現場指導者への研修会の開催、安全装備や労働強度の低減資機材の導入、市町村による担い手確保に向けた取組等を支援しました。

イ 木材の利用促進 (170,287 千円)

県産材の需要拡大を図るため、公共施設等や住宅への県産材の利用促進、県産材サポーターの養成、県産材製品の販路拡大及び森林認証の取得促進の支援等を実施しました。



高校生等への林業就業体験支援



公共建築物等の木造化支援



販路拡大のための海外展示会

(3) 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 (42,619 千円)

ア 県民への情報提供 (25,969 千円)

森林の働きや林業の役割を普及啓発するため、郵便局や図書館等でのパネル展示、小学生向けの社会科副読本の作成及び高校への木製品導入支援等を実施しました。

イ 県民参加による森づくり活動の推進 (16,650 千円)

森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森づくりサポートセンターの活動（研修会の開催等）、企業等による森づくり活動、みどりの大会、環境学習エコツアー、二酸化炭素森林吸収評価認証書の交付及び全国植樹祭に向けた準備等を実施しました。



県立図書館でのパネル等の展示



高校への木製品導入支援



環境学習エコツアーの支援

県民税事業充当額合計 632,402 千円